

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン



2014-2015年度

会長:吉田正道 幹事:亀井敏勝 クラブ会報委員長:関 貴之

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2014 October 1

■ 2014~2015 年度方針

「職業奉仕の原点に立ち返り、いきいき(粹・意気)ロータリーライフ」

NO.13

例会報告

●第2055回例会 平成26年10月1日(水) 晴

●10月は職業奉仕月間・米山月間

●君が代

●ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員 104 名中 (100) 出席71名

出席率71.00% 修正出席率80.21%
(9月17日分)

●ゲスト紹介

- ・ゲストスピーカー カドカ・シバ・ラムさん (米山学友会)
- ・米山奨学生 マコヴニコバ ヤナさん

●ニコボックス

「米山奨学学友会のカドカ・シバ・ラムさんから、本日、卓話をいただきます。」

服部雅紀米山奨学会委員

「インチョンアジア大会でトライアスロンは男女金銀独占。リレーで金と完全制覇をとげ、16年リオ20年東京オリンピックにむけて良いスタートを切ることができ、日本選手団団長として面目を保つことができました。」 國分孝雄君

「先週の麻雀会で優勝いたしました。去年はブービーでしたが今年はつきがありそうです。」

野崎敏夫君

「先日のゴルフ通の会でベスグロが出て、優勝してしまいました。天気も良くメンバーにも恵まれ、とても楽しくできました。ありがとうございます。」 小林利之君

「会社のOBゴルフ会で、グロス76のエイジシュー
トでした。」 安井信之君

「放射線は、量によっては遺伝子を修復し、免疫を
高めるといふ、“放射線ホルミシス”なる仮説が、
ミズーリ大のラッキーにより報告されたのは、
1982年のことです。原発人災の後始末に、悪
用されかねません。すこしベーシックな部分書い
ておきました。」 鷲塚貞長君

本日のニコボックス	6件	26,000円
累 計	76件	928,000円

亀井敏勝幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・10月15日(水) 規定休日のため、休会です。
- ・10月22日(水) 例会終了後、理事会を行います。
- ※10月29日(水)、例会終了後に予定しておりました理事会は、吉田会長欠席のため、10月22日(水)、例会終了後に変更となります。
- ・11月1日(土) WFFに参加のためWFF会場内テレビ塔北側Aゾーン。
12時30分~13時30分。
- ※11月5日(水) ウェスティンナゴヤキャッスルでのお昼の例会はございません。
- ・11月12日(水) もみじ夜間例会 か茂免 18時~。
- ※11月12日(水) ウェスティンナゴヤキャッスルでのお昼の例会はございません。
- ※本日ご案内を配布しております。

吉田正道会長挨拶

“職業奉仕”

神無月最初の例会です。10月は職業奉仕月間でもありますので、本年度のクラブ運営方針に掲げています「職業奉仕の原点」について。ロータリーがもっともロータリーらしいのは「職業奉仕」理念を

根本に据えているからであることは皆さんご承知のことと思います。このところR Iの潮流としてロータリーを人道的奉仕主体の団体と見るように見うけられます。職業奉仕が軽視され「苦悩する職業奉仕」「落日の職業奉仕」といった危惧が表明されています。日本のロータリアンは歴史的にこの職業奉仕をロータリアンの矜持として大切に保持してきました。確かに日本のロータリアンの間においても職業奉仕に関して「シェルドン派」「天職派」「倫理派」などといって様々な議論がなされてきました。したがって余計にわかりにくいわけです。また、ロータリーが事業家と専門職業人で構成されていることによってもそこに微妙な温度差がうまれていることもあるでしょう。

事業経営者は発展的な事業を構築することを目指しているわけですから儲けがなければやっていけません。このせちがらい世の中では駆け引きもあり、ときには方便も使う必要があるかと思えます。利益重視か職業倫理か、はたまた神学論的天職論か悩ましいところですよ。

ロータリーは個人個人の資質を重視し、資質の高い個人個人がそれぞれの職業を通じて社会に奉仕することを目的としています。ロータリーは決して物的財産的奉仕を主目的にするものではないのです。職業奉仕は職業に携わる会員個人が、事業、専門職を遂行するにあたって基本に据え、自分の職場で実践すべきものということです。

シェルドン曰く「奉仕は利己と利他の調和、経営の科学とは奉仕の科学である。」「単に自分だけが儲けようという商売から脱して、他人に対してサービスすることが、事業を成功させる方法である。」「継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む、さらに良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であり、資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法だ。」と考えたわけです。また、ハーバート・テイラーが倒産寸前の会社再建の切り札として考えた「四つのテスト」は極めて現実的な商取引の基準、事業を繁栄に導くための基準で職業倫理、道徳観を想定したものではないようです。

職業奉仕に関しては、1989年規定審議会が「職業宣言」を発表していますのでご一読ください。

人間を律するのにユダヤ人は宗教で、ギリシャ人は哲学で、ローマ人は法律で。ロータリアンは奉仕で。

ロータリー米山記念奨学事業について

米山奨学委員会委員長 服部 雅紀



1. 目的

・留学生が将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍することを期待し、ロータリーの理想とする平和と国際親善を目的とする事業です。

2. 歴史

・米山梅吉さんによる私費による留学生支援に始まり、1952年東京RCで設立され、1957年に全国組織となりました。

3. 内容

- ・日本に在留する留学生を支援する民間の奨学財団です。
- ・日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に行う給付型の奨学金制度です。
- ・世話クラブ単位で留学生を支援します。

4. 実績

- ・対象国：中国、韓国、台湾からが約4分の3、その他が北米、南米、欧州等。
- ・年間：全国：700名／年、2760地区：37名／年（2014／2015年度）。
- ・過去：18,000人←国内で民間最大の国際奨学事業

5. 今後の課題

- ・奨学会修了後、引き続き世話クラブ等の良好な関係をもつ元留学生は3分の一程度ですから、今後ロータリクラブとの良好な関係作りが持続する元留学生が増えることを期待しています。

6. 米山学友会の学友生の卓話

- ・米山学友会所属の「カドカ シバ ラム」さんに、自己紹介、ロータリから学んだこと、その後の歩みについて、お話を伺います。

●カドカ・シバ・ラムさんの卓話は都合により次回掲載させていただきます。

例会	月日	今後の予定
第2056回	10.8	ピアニスト・フォトグラファー 草野由花子さん 「写真撮影のお話」とJazzピアノ演奏」
	10.15	規定休日のため休会
第2057回	10.22	元青少年交換学生 松尾玲音君

○このウィクリーは再生紙を使用しております。